



2024年8月14日

各 位

東京都墨田区太平四丁目1番3号
株式会社ペッパーフードサービス
代表取締役社長CEO 一瀬 健作
(コード番号: 3053) 東証スタンダード
問い合わせ先 常務取締役 猿山 博人
開発本部長 兼 総務人事本部長
電話番号 03 (3829) 3210

「継続企業の前提に関する注記」の記載解消に関するお知らせ

当社は、本日付けで別途開示いたしました「2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）」において「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

当社は、新型コロナウイルス感染症拡大により売上高が著しく減少したことに伴い、継続した営業損失を計上したこと、借入金の返済等の資金繰りに懸念が生じていたこと等から、継続企業の前提に重要な不確実性が存在すると認識し、「継続企業の前提に関する注記」を記載しておりました。

このような状況を解消すべく、当社は、収益改善及び本社費用の削減等の施策を行ってまいりました。具体的には、既存店の売上対策を強化し、店舗の事情に応じたメニューの変更等の推進を行いました。また、適切な店舗体制を構築するために、各店舗の地域配分や収益性等を精査して、2020年度以降、151店舗を閉店し、不採算店舗の閉店による利益改善、店舗管理従業員の適正配置などのコスト削減施策も推進し、事業の収益性を改善しております。次に借入金の返済等への対応については、事業再編による資金調達、第三者を割当先とした新株予約権の発行による資金調達を行い、2024年4月30日に全額返済を行いました。

このような取り組み成果に加え、当第2四半期会計期間において、2024年4月3日のメニュー改定による店舗利益率の改善や本社費用の削減が更に進みました。その結果、営業キャッシュフローが改善し、資金水準は当面、懸念が無い水準を確保できると判断いたしました。

よって、当社は、2024年第2四半期会計期間末において、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象または状況は解消したと判断し、「継続企業の前提に関する注記」の記載を解消いたしました。

株主の皆様、お客様、お取引先をはじめとするステークホルダーの皆様には多大なるご心配をおかけしてまいりました。今後も企業価値の向上に努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上